

令和2年7-9月期中小企業景気動向調査結果

業況DIは0.5ポイントの低下

公益財団法人神奈川産業振興センター（KIP）が四半期ごとに実施している「中小企業景気動向調査」の令和2年7-9月期の調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

1. 調査要領

- ・調査時期：令和2年8月
- ・調査対象：神奈川県内中小企業2,000社
- ・回答数（率）：1,024社（51.2%） ※詳細は下記の通り
- ・調査方法：調査対象へ郵送
- ・分析方法：DI（Diffusion Index）※による分析

※業況等について「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を引いた数値

区分	送付数	回答数	回答率（%）
製造業	550	352	64.0%
建設業	250	131	52.4%
商業・サービス業 （卸売業、小売業、飲食店、サービス業）	1,200	541	45.1%
合計	2,000	1,024	51.2%

2. 調査結果

（1）総合

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	▲33.5	▲35.4	▲62.1	▲62.6	▲65.3	▲58.3
売上DI	▲24.8	▲35.0	▲66.7	▲48.5	—	—
採算DI	▲31.8	▲35.1	▲58.4	▲45.8	—	—

総合の業況DIは、前期比0.5ポイント低下の▲62.6となった。

経営状況では、売上DIは前期比18.2ポイント上昇の▲48.5、また、採算DIは同12.6ポイント上昇の▲45.8となった。

今後の業況DIを見ると、3か月後は現在比2.7ポイント低下の▲65.3、半年後は同4.3ポイント上昇の▲58.3を見込んでいる。

（2）業種別特徴

<製造業>

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	▲30.7	▲39.4	▲64.0	▲74.4	▲77.9	▲67.0
売上DI	▲27.0	▲36.3	▲74.9	▲65.2	—	—
採算DI	▲29.9	▲36.4	▲64.0	▲62.2	—	—

製造業の今期の業況DIは、前期比10.4ポイント低下の▲74.4となった。

経営状況では、売上DIは、前期比9.7ポイント上昇の▲65.2、採算DIは同1.8ポイント上昇の▲62.2となった。

「暫くは売上減少すると見通して、適正な人員、経費等を見直し、強い財務体制を築く。」「8月決算ですが、ボロボロです。オンライン商談等で、少しずつ営業活動を広げていきます。」「コロナの影響で、5月は、売上が半分に落ち込んだが、影響が有った取引先は、まだ回復には至っていないものの、他の取引先からの受注が増えている。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比3.5ポイント低下の▲77.9、半年後は同7.4ポイント上昇の▲67.0を見込んでおり、「非常に悪いです。好転の兆しも見えません。」「5～6月は、今までに経験したことがないくらい最悪でした。7月から戻ってきて、現在は忙しい状態です。でも先々、また落ち込むのではないかと不安です。（波が激しい。）」「新型コロナウイルス流行の影響から、顧客自身も十分な営業、生産が出来ず、当社への受注量もそれに伴い、減少しています。この状況がいつまで続くか、先が見えない状態です。」といった声も聞かれた。

なお、製造業の中分類の業況DIは以下の通り。

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
一般機械	▲31.5	▲39.3	▲63.0	▲80.7	▲84.3	▲72.0
電気機械	▲35.8	▲32.4	▲53.2	▲69.9	▲73.2	▲61.7
輸送用機械	▲32.3	▲47.5	▲83.3	▲74.1	▲76.9	▲66.0
その他	▲26.2	▲39.7	▲62.3	▲73.5	▲77.3	▲67.4

中分類で見ると、一般機械は前期比17.7ポイント低下の▲80.7、電気機械は同16.7ポイント低下の▲69.9、輸送用機械は同9.2ポイント上昇の▲74.1となった。

今後の業況DIは、3か月後は一般機械が現在比3.6ポイント低下の▲84.3、電気機械が同3.3ポイント低下の▲73.2、輸送用機械は同2.8ポイント低下の▲76.9、半年後は一般機械が同8.7ポイント上昇の▲72.0、電気機械が同8.2ポイント上昇の▲61.7、輸送用機械は同8.1ポイント上昇の▲66.0を見込んでいる。

<建設業>

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	3.1	11.5	▲25.6	▲24.4	▲36.2	▲40.9
売上DI	0.8	▲4.1	▲52.1	▲28.2	—	—
採算DI	▲4.6	▲6.6	▲43.0	▲22.3	—	—

建設業の今期の業況DIは、前期比1.2ポイント上昇の▲24.4となった。

経営状況では、売上DIは前期比23.9ポイント上昇の▲28.2、採算DIは同20.7ポイント上昇の▲22.3となった。

「引き合いは増えているが、人手（技術者）が不足している。技術者確保が課題。」「コロナの影響が出はじめてきた。今までは何とか維持できたが、8月以降、厳しくなると思う。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比11.8ポイント低下の▲36.2、半年後は同16.5ポイント低下の▲40.9を見込んでおり、「建設業のコロナ影響はこれから。引き合いも少なくなっているし、民間しか受注していなかった元請も、公共事業にシフトしている。不安要素しかない。」といった声も聞かれた。

<商業・サービス業>

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
業況DI	▲44.6	▲43.6	▲68.7	▲64.2	▲63.9	▲56.8
売上DI	▲29.6	▲41.5	▲64.5	▲42.3	—	—
採算DI	▲40.1	▲41.0	▲58.1	▲40.7	—	—

商業・サービス業の業況DIは、前期比4.5ポイント上昇の▲64.2となった。

経営状況では、売上DIは前期比22.2ポイント上昇の▲42.3、採算DIは同17.4ポイント上昇の▲40.7となった。「外国人観光客向け土産製造卸なので、商売は壊滅的。」「新型コロナウイルスの関連で自粛。宴会中止で客数減で悪化続き。」「自粛期間の2月～6月までは、客足が多く好調でしたが、終わったとたん客足はかなり悪くなりました。」「家ご飯が増えてきているのか、普段はまとめ買いが多いが、単品で買物するお客さまが増えて忙しいです。」といった声も聞かれた。

今後の業況DIは、3か月後は現在比0.3ポイント上昇の▲63.9、半年後は同7.4ポイント上昇の▲56.8を見込んでいる。「EC販売の販売が多かった為、実店舗向けの販売が減った分をカバーできました。しかし、今後についてはどうなるか全く分かりません。」「8月納期分の注文より、大きく減少。半年後の状況が見通せない。」「結婚式、七五三、成人式、卒業式の開催が未定の方が多く、先の見えない状況が続くと思われます。(キャンセル、延長。)」
「店内でのお客さまが減り、デリバリーが増えているが、デリバリーが出来るスタッフが足りなくなってきている。」といった声も聞かれた。

なお、商業・サービス業の各々の業況DIは以下の通り。

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
卸売業	▲34.8	▲44.0	▲68.5	▲66.7	▲73.7	▲69.1
小売業	▲58.0	▲56.8	▲75.0	▲64.6	▲70.4	▲72.5
飲食店	▲53.5	▲55.0	▲97.2	▲81.1	▲87.8	▲87.7
サービス業	▲23.9	▲17.3	▲44.5	▲52.9	▲33.6	0.0

業種別では、卸売業は前期比1.8ポイント上昇の▲66.7、小売業は同10.4ポイント上昇の▲64.6、飲食店は同16.1ポイント上昇の▲81.1、サービス業は同8.4ポイント低下の▲52.9となった。

今後の業況DIは、3か月後では卸売業が現在比7.0ポイント低下の▲73.7、小売業は同5.8ポイント低下の▲70.4、飲食店は同6.7ポイント低下の▲87.8、サービス業は同19.3ポイント上昇の▲33.6、半年後では卸売業が同2.4ポイント低下の▲69.1、小売業は同7.9ポイント低下の▲72.5、飲食店は同6.6ポイント低下の▲87.7、サービス業は同52.9ポイント上昇の0.0を見込んでいる。

(3) 規模別特徴

		令和元年	令和2年				令和3年
		10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
中規模	業況DI	▲30.4	▲32.5	▲59.0	▲59.3	▲60.7	▲55.2
	売上DI	▲20.0	▲27.9	▲62.6	▲42.5	—	—
	採算DI	▲31.9	▲33.6	▲56.5	▲40.7	—	—
小規模	業況DI	▲37.1	▲38.6	▲65.7	▲66.6	▲70.5	▲61.9
	売上DI	▲30.3	▲42.9	▲71.3	▲55.4	—	—
	採算DI	▲31.8	▲36.9	▲60.5	▲51.8	—	—

規模別の業況DIは、中規模企業は前期比0.3ポイント低下の▲59.3、小規模企業は同0.9ポイント低下の▲66.6となった。

経営状況では、中規模企業は売上DIが前期比20.1ポイント上昇の▲42.5、採算DIが同15.8ポイント上昇の▲40.7、小規模企業は売上DIが同15.9ポイント上昇の▲55.4、採算DIが同8.7ポイント上昇の▲51.8となった。

今後の業況DIについては、中規模企業は3か月後が現在比1.4ポイント低下の▲60.7、半年後が同4.1ポイント上昇の▲55.2、小規模企業は3か月後が同3.9ポイント低下の▲70.5、半年後が同4.7ポイント上昇の▲61.9を見込んでいる。

(4) 地区別特徴

	令和元年	令和2年				令和3年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 見込	1-3月期 見込
横浜	▲29.3	▲31.7	▲64.6	▲63.8	▲68.6	▲62.9
川崎	▲27.2	▲27.2	▲47.1	▲55.0	▲56.2	▲53.8
横須賀	▲35.8	▲46.0	▲56.1	▲50.0	▲58.2	▲57.3
平塚	▲29.1	▲33.7	▲63.2	▲63.1	▲66.3	▲62.7
藤沢	▲49.5	▲44.2	▲64.9	▲65.3	▲69.7	▲56.6
相模原	▲36.8	▲34.4	▲58.8	▲68.3	▲76.0	▲62.0
厚木	▲23.4	▲26.9	▲67.2	▲61.1	▲58.0	▲50.0
足柄上・西湘	▲47.1	▲48.1	▲74.8	▲75.5	▲68.0	▲56.4

今期の地区別の業況DIは、

横浜地区（前期比0.8ポイント上昇の▲63.8）、川崎地区（同7.9ポイント低下の▲55.0）、横須賀地区（同6.1ポイント上昇の▲50.0）、平塚地区（同0.1ポイント上昇の▲63.1）、藤沢地区（同0.4ポイント低下の▲65.3）、相模原地区（同9.5ポイント低下の▲68.3）、厚木地区（同6.1ポイント上昇の▲61.1）、足柄上・西湘地区（同0.7ポイント低下の▲75.5）となり4地区で上昇し、4地区で低下となった。

今後の業況DIは、3か月後は、

横浜地区（現在比4.8ポイント低下の▲68.6）、川崎地区（同1.2ポイント低下の▲56.2）、横須賀地区（同8.2ポイント低下の▲58.2）、平塚地区（同3.2ポイント低下の▲66.3）、藤沢地区（同4.4ポイント低下の▲69.7）、相模原地区（同7.7ポイント低下の▲76.0）、厚木地区（同3.1ポイント上昇の▲58.0）、足柄上・西湘地区（同7.5ポイント上昇の▲68.0）となり2地区で上昇し、6地区で低下すると見込んでいる。

半年後は、

横浜地区（現在比0.9ポイント上昇の▲62.9）、川崎地区（同1.2ポイント上昇の▲53.8）、横須賀地区（同7.3ポイント低下の▲57.3）、平塚地区（同0.4ポイント上昇の▲62.7）、藤沢地区（同8.7ポイント上昇の▲56.6）、相模原地区（同6.3ポイント上昇の▲62.0）、厚木地区（同11.1ポイント上昇の▲50.0）、足柄上・西湘地区（同19.1ポイント上昇の▲56.4）となり7地区で上昇し、1地区で低下すると見込んでいる。

▼本件に関するお問い合わせ先

(公財) 神奈川産業振興センター (KIP)

(Kanagawa Industrial Promotion Center)

事業部経営総合相談課 小菅

TEL:045-633-5201 FAX:045-633-5194

URL <https://www.kipc.or.jp/> E-mail:soudan@kipc.or.jp

景気動向調査 (令和2年7月～9月期)

業種別DI表

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		352	131	96	231	75	139	541	1,024
業況判断	現在の業況	▲74.4	▲24.4	▲66.7	▲64.6	▲81.1	▲52.9	▲64.2	▲62.6
	3ヶ月後の業況	▲77.9	▲36.2	▲73.7	▲70.4	▲87.8	▲33.6	▲63.9	▲65.3
	半年後の業況	▲67.0	▲40.9	▲69.1	▲72.5	▲87.7	0.0	▲56.8	▲58.3
経営状況	売上	▲65.2	▲28.2	▲55.2	▲48.5	▲53.3	▲14.4	▲42.3	▲48.5
	採算	▲62.2	▲22.3	▲53.1	▲47.4	▲54.7	▲12.1	▲40.7	▲45.8
	引き合い/客数	▲59.0	▲34.4	▲37.9	▲47.4	▲53.3	▲52.2	▲47.8	▲50.0
	単価	▲24.8	▲5.4	▲35.8	▲40.1	▲40.0	▲60.6	▲44.6	▲32.7
	仕入価格	▲21.2	▲17.8	▲22.3	▲30.6	▲45.9	▲60.0	▲38.7	▲30.0
	資金繰り	▲46.9	▲10.0	▲40.0	▲38.6	▲56.8	▲49.6	▲44.2	▲40.7
	残業	▲57.7	▲22.5	▲39.8	▲30.9	▲59.7	▲44.9	▲40.1	▲44.0
	設備稼働	▲58.5	▲18.5	—	—	—	—	—	▲48.0
前期経営実績	売上水準	▲69.3	▲29.0	▲70.5	▲62.3	▲92.0	▲35.5	▲61.0	▲59.8
	利益水準	▲43.5	▲9.9	▲45.3	▲46.1	▲78.7	▲31.2	▲46.7	▲40.8
	在庫	12.1	▲1.7	21.7	5.2	9.7	▲22.2	1.7	4.9
	投資	▲29.7	▲11.5	▲20.4	▲23.1	▲30.6	▲29.9	▲25.4	▲25.2
	雇用状況	19.5	▲30.2	5.4	▲1.8	15.1	▲32.4	▲6.1	▲0.3

参考<前回調査> 景気動向調査

		製造業	建設業	商業・サービス業				総合	
				卸売業	小売業	飲食店	サービス業		小計
回収数		362	121	108	245	72	147	572	1,055
業況判断	現在の業況	▲64.0	▲25.6	▲68.5	▲75.0	▲97.2	▲44.5	▲68.7	▲62.1
	3ヶ月後の業況	▲80.5	▲60.2	▲83.8	▲84.7	▲94.2	▲30.1	▲71.5	▲73.3
	半年後の業況	▲69.8	▲61.7	▲73.5	▲79.5	▲82.4	▲2.3	▲60.3	▲63.8
経営状況	売上	▲74.9	▲52.1	▲77.6	▲80.0	▲97.2	▲6.9	▲64.5	▲66.7
	採算	▲64.0	▲43.0	▲70.1	▲70.1	▲90.3	▲10.9	▲58.1	▲58.4
	引き合い/客数	▲69.6	▲58.8	▲47.7	▲70.1	▲94.4	▲62.6	▲67.0	▲67.0
	単価	▲22.2	▲13.3	▲54.2	▲49.8	▲77.5	▲77.6	▲61.2	▲42.2
	仕入価格	▲22.1	▲20.7	▲20.8	▲30.7	▲36.2	▲70.4	▲39.6	▲31.4
	資金繰り	▲56.8	▲24.8	▲55.1	▲61.8	▲83.1	▲68.7	▲65.0	▲57.6
	残業	▲66.4	▲47.9	▲55.1	▲46.7	▲88.2	▲66.7	▲58.5	▲60.0
	設備稼働	▲67.8	▲33.6	—	—	—	—	—	▲59.6
前期経営実績	売上水準	▲31.6	2.5	▲53.7	▲57.6	▲65.3	▲51.4	▲56.2	▲41.0
	利益水準	▲9.7	9.9	▲27.8	▲41.6	▲58.3	▲36.4	▲39.8	▲23.7
	在庫	11.1	▲2.8	11.3	▲2.0	5.9	▲18.7	▲2.7	2.1
	投資	▲18.6	▲12.4	▲17.9	▲27.6	▲35.7	▲49.3	▲32.3	▲25.3
	雇用状況	4.7	▲32.8	0.9	1.3	5.7	▲48.2	▲10.9	▲8.0

規模別DI表

		製造業		建設業		商業・サービス業		総合	
		中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業	中規模企業	小規模企業
回収数		184	168	62	69	306	235	552	472
業況判断	現在の業況	▲73.4	▲75.6	▲21.0	▲27.5	▲58.6	▲71.7	▲59.3	▲66.6
	3ヶ月後の業況	▲78.6	▲77.2	▲36.7	▲35.8	▲54.7	▲75.8	▲60.7	▲70.5
	半年後の業況	▲65.6	▲68.5	▲40.0	▲41.8	▲51.7	▲63.1	▲55.2	▲61.9
経営状況	売上	▲60.3	▲70.7	▲29.0	▲27.5	▲34.3	▲52.6	▲42.5	▲55.4
	採算	▲59.8	▲64.9	▲16.1	▲27.9	▲34.0	▲49.4	▲40.7	▲51.8
	引き合い/客数	▲55.7	▲62.5	▲35.5	▲33.3	▲43.3	▲53.6	▲46.5	▲54.0
	単価	▲20.7	▲29.3	▲8.1	▲2.9	▲38.6	▲52.4	▲29.1	▲36.9
	仕入価格	▲19.6	▲23.0	▲8.2	▲26.5	▲36.2	▲42.0	▲27.5	▲33.0
	資金繰り	▲45.1	▲48.8	0.0	▲19.1	▲39.1	▲50.9	▲36.7	▲45.5
	残業	▲59.2	▲56.0	▲25.8	▲19.4	▲42.1	▲37.6	▲46.0	▲41.6
	設備稼働	▲56.0	▲61.1	▲15.0	▲21.9	—	—	▲45.9	▲50.2
前期経営実績	売上水準	▲64.7	▲74.4	▲29.0	▲29.0	▲55.4	▲68.4	▲55.5	▲64.8
	利益水準	▲35.9	▲51.8	0.0	▲18.8	▲37.8	▲58.1	▲32.9	▲50.1
	在庫	19.6	3.8	▲3.4	0.0	2.0	1.3	7.3	2.0
	投資	▲31.3	▲27.9	▲15.5	▲7.8	▲23.7	▲27.6	▲25.4	▲24.9
	雇用状況	22.0	16.9	▲37.1	▲23.9	▲5.0	▲7.6	0.4	▲1.1

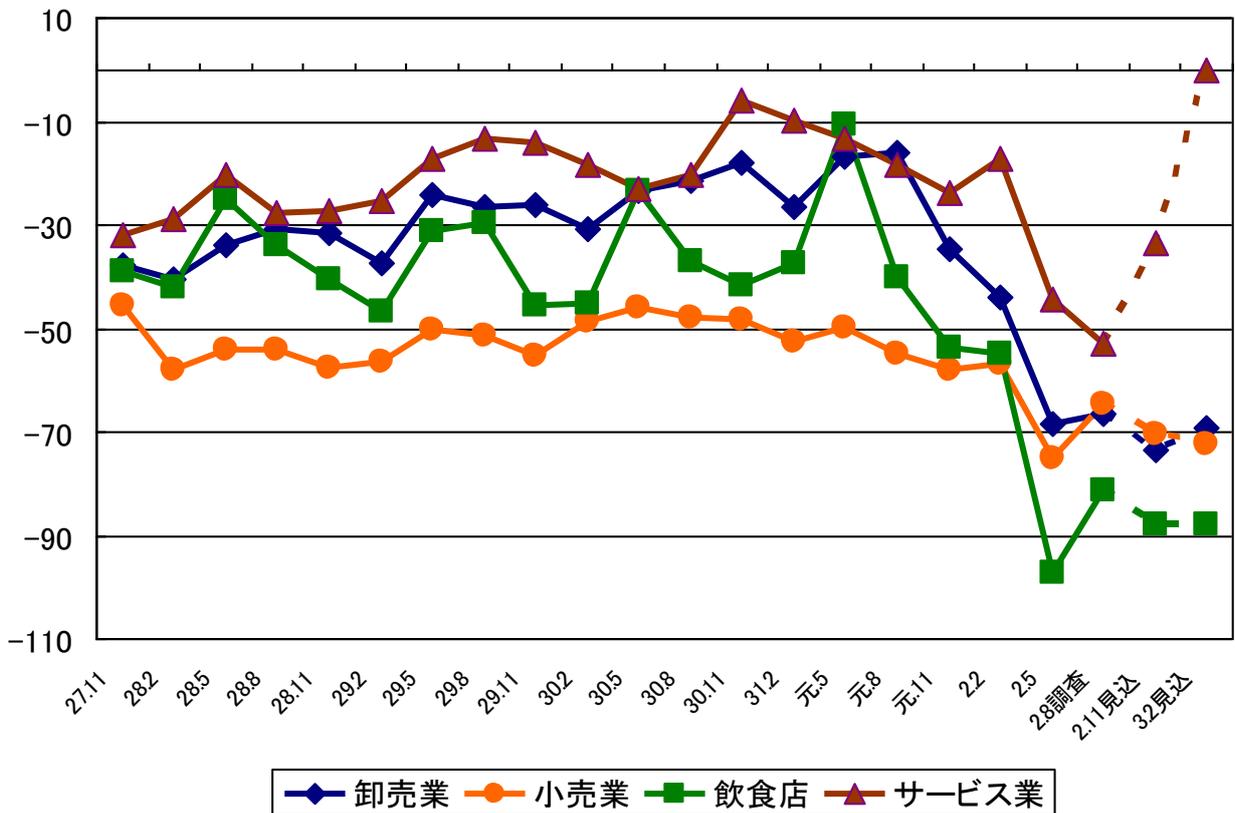
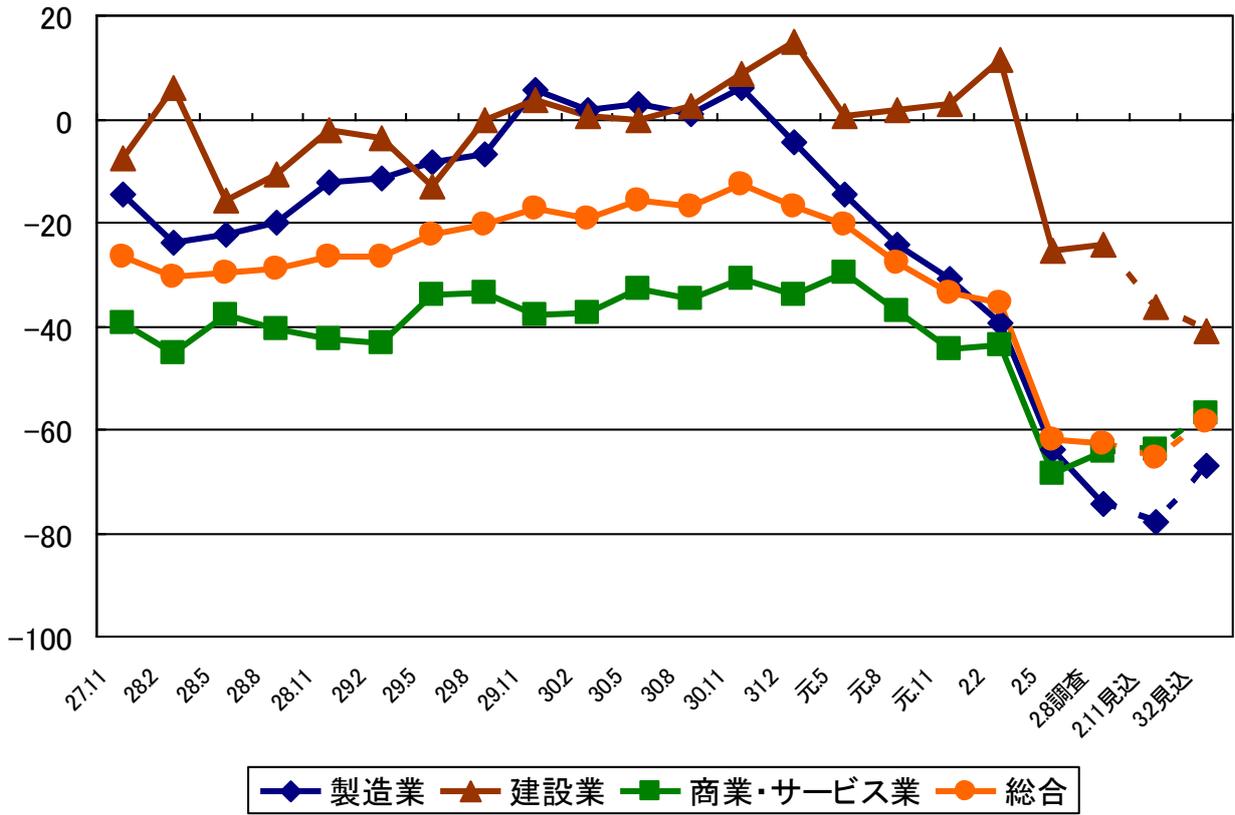
地区別DI表

		横浜	川崎	横須賀	平塚	藤沢	相模原	厚木	足柄上・西湘	総合
回収数		261	142	100	103	101	101	113	103	1,024
業況判断	現在の業況	▲63.8	▲55.0	▲50.0	▲63.1	▲65.3	▲68.3	▲61.1	▲75.5	▲62.6
	3ヶ月後の業況	▲68.6	▲56.2	▲58.2	▲66.3	▲69.7	▲76.0	▲58.0	▲68.0	▲65.3
	半年後の業況	▲62.9	▲53.8	▲57.3	▲62.7	▲56.6	▲62.0	▲50.0	▲56.4	▲58.3
経営状況	売上	▲54.1	▲46.4	▲33.7	▲44.1	▲52.5	▲55.0	▲44.6	▲49.5	▲48.5
	採算	▲47.7	▲43.3	▲39.8	▲45.1	▲48.5	▲49.0	▲45.1	▲46.1	▲45.8
	引き合い/客数	▲53.5	▲39.6	▲39.4	▲51.5	▲53.5	▲52.5	▲48.2	▲59.8	▲50.0
	単価	▲34.1	▲26.2	▲27.3	▲26.7	▲36.0	▲30.7	▲35.7	▲44.7	▲32.7
	仕入価格	▲25.5	▲29.7	▲28.0	▲29.1	▲38.0	▲27.7	▲33.3	▲35.3	▲30.0
	資金繰り	▲40.2	▲33.3	▲29.3	▲39.8	▲50.5	▲45.5	▲40.2	▲50.5	▲40.7
	残業	▲40.3	▲43.3	▲36.7	▲46.5	▲36.6	▲48.0	▲51.4	▲53.9	▲44.0
	設備稼働	▲46.2	▲40.6	▲42.5	▲41.3	▲51.2	▲51.8	▲50.8	▲65.9	▲48.0
前期経営実績	売上水準	▲63.5	▲52.8	▲52.0	▲59.2	▲61.4	▲69.3	▲52.2	▲65.7	▲59.8
	利益水準	▲41.7	▲31.7	▲37.4	▲43.7	▲43.6	▲44.6	▲33.6	▲53.4	▲40.8
	在庫	5.3	3.6	3.1	9.0	▲5.2	4.0	16.4	1.0	4.9
	投資	▲25.1	▲21.3	▲17.3	▲21.4	▲35.0	▲28.0	▲26.8	▲28.0	▲25.2
	雇用状況	0.8	▲2.1	▲15.2	4.0	▲4.0	3.1	8.1	1.0	▲0.3

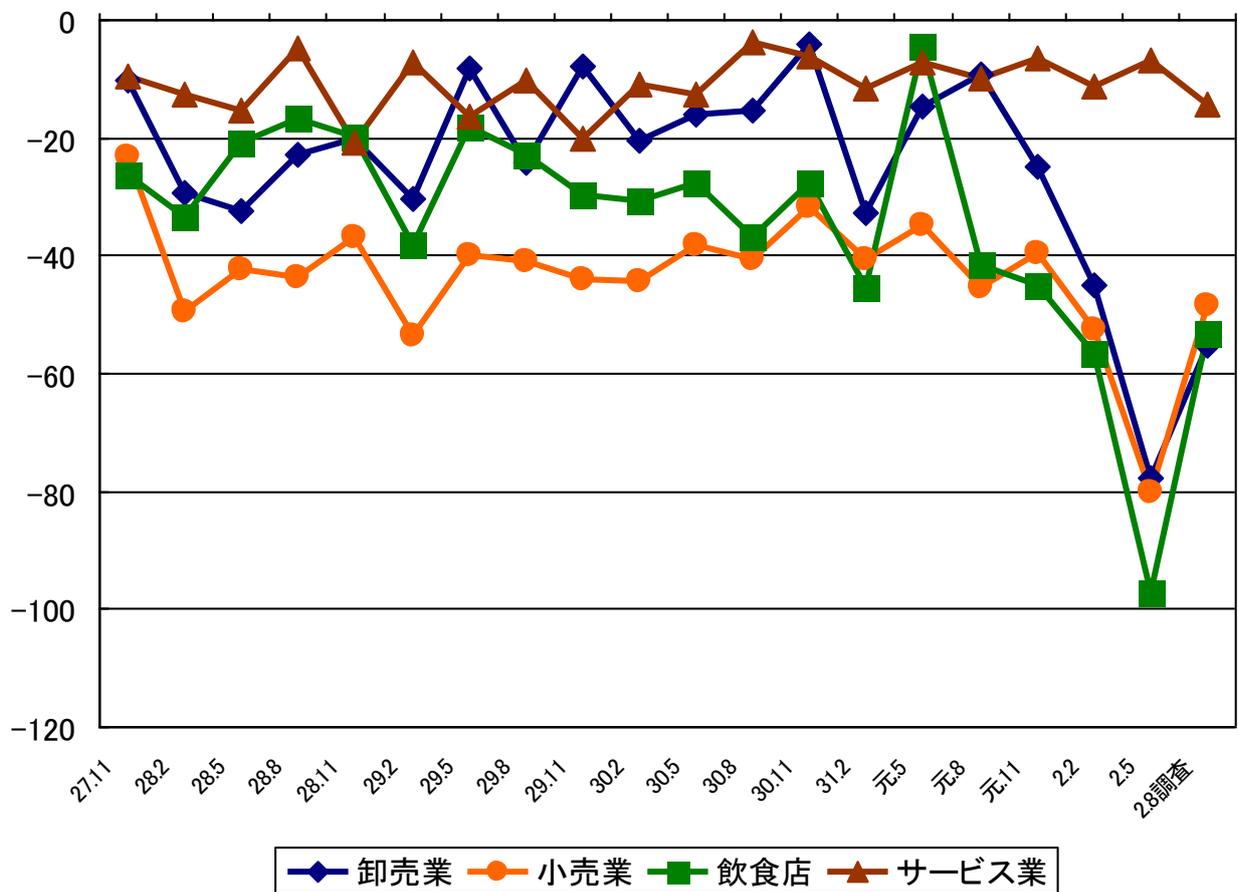
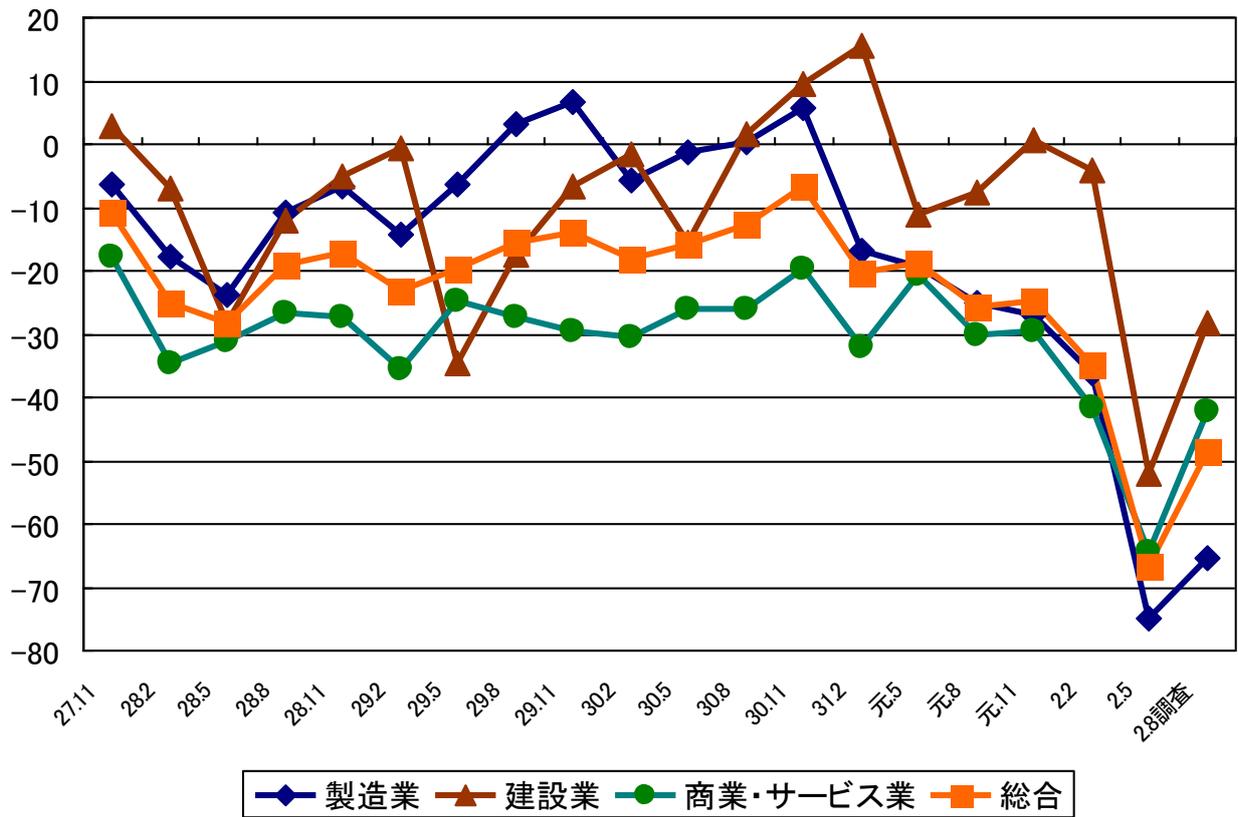
製造業中分類別DI表

		一般機械	電気機械	輸送用機械	その他	総合
回収数		83	83	54	132	352
業況判断	現在の業況	▲80.7	▲69.9	▲74.1	▲73.5	▲74.4
	3ヶ月後の業況	▲84.3	▲73.2	▲76.9	▲77.3	▲77.9
	半年後の業況	▲72.0	▲61.7	▲66.0	▲67.4	▲67.0
経営状況	売上	▲71.1	▲67.5	▲63.0	▲61.1	▲65.2
	採算	▲66.3	▲59.0	▲59.3	▲62.9	▲62.2
	引き合い/客数	▲68.7	▲62.2	▲55.6	▲52.3	▲59.0
	単価	▲24.1	▲25.3	▲18.9	▲27.3	▲24.8
	仕入価格	▲18.1	▲28.9	▲17.3	▲19.8	▲21.2
	資金繰り	▲52.4	▲42.2	▲42.6	▲48.1	▲46.9
	残業	▲59.0	▲55.4	▲70.4	▲53.0	▲57.7
	設備稼働	▲61.7	▲59.0	▲64.8	▲53.4	▲58.5
前期経営実績	売上水準	▲66.3	▲66.3	▲75.9	▲70.5	▲69.3
	利益水準	▲41.0	▲32.5	▲57.4	▲46.2	▲43.5
	在庫	3.9	16.9	9.8	14.8	12.1
	投資	▲24.7	▲33.7	▲37.7	▲26.9	▲29.7
	雇用状況	22.0	24.4	19.2	15.2	19.5

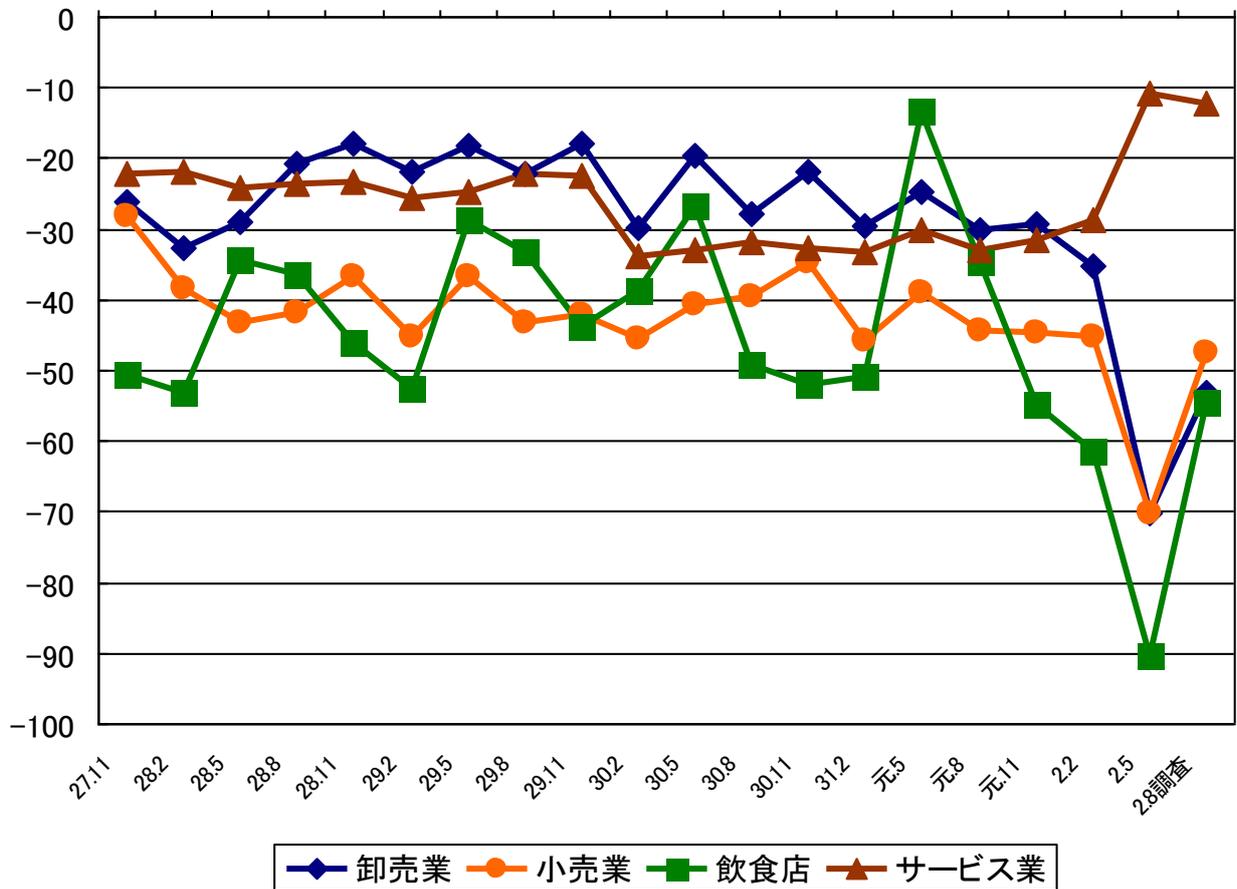
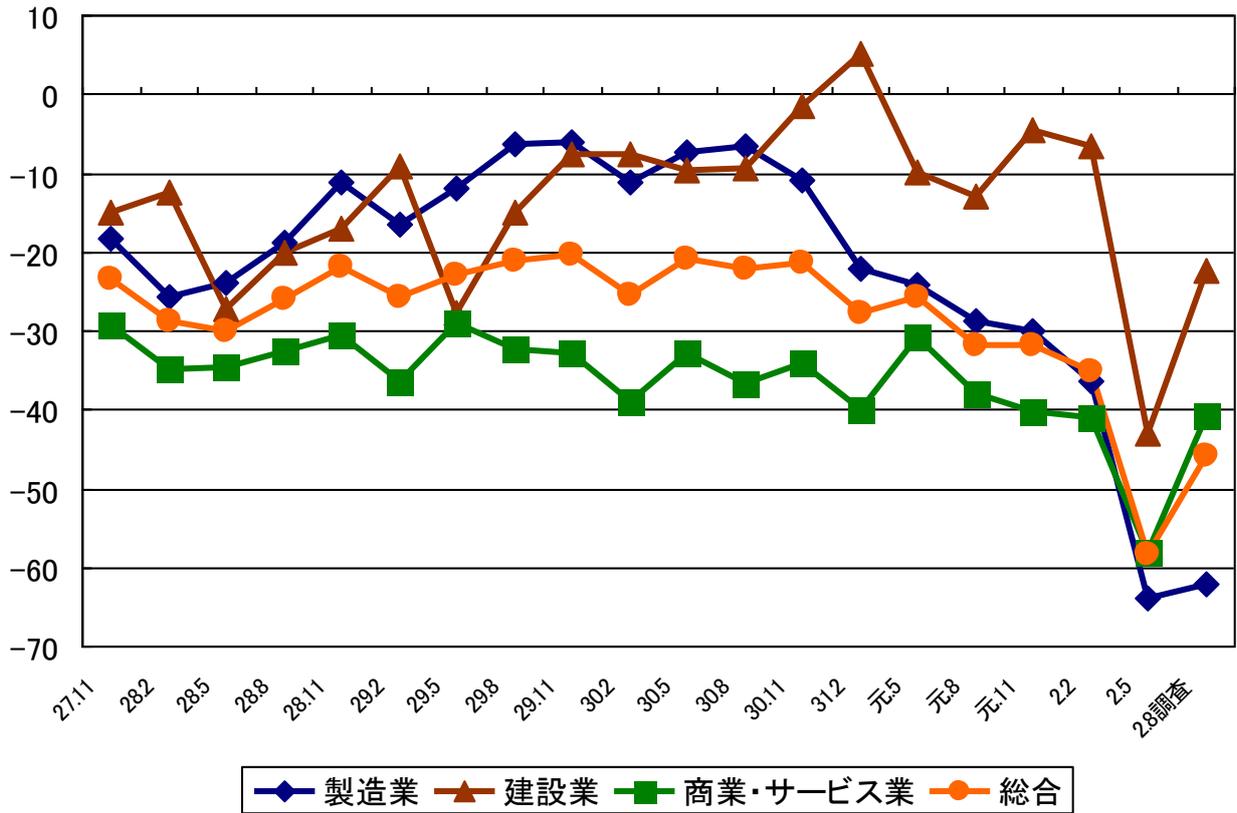
業況DIの推移



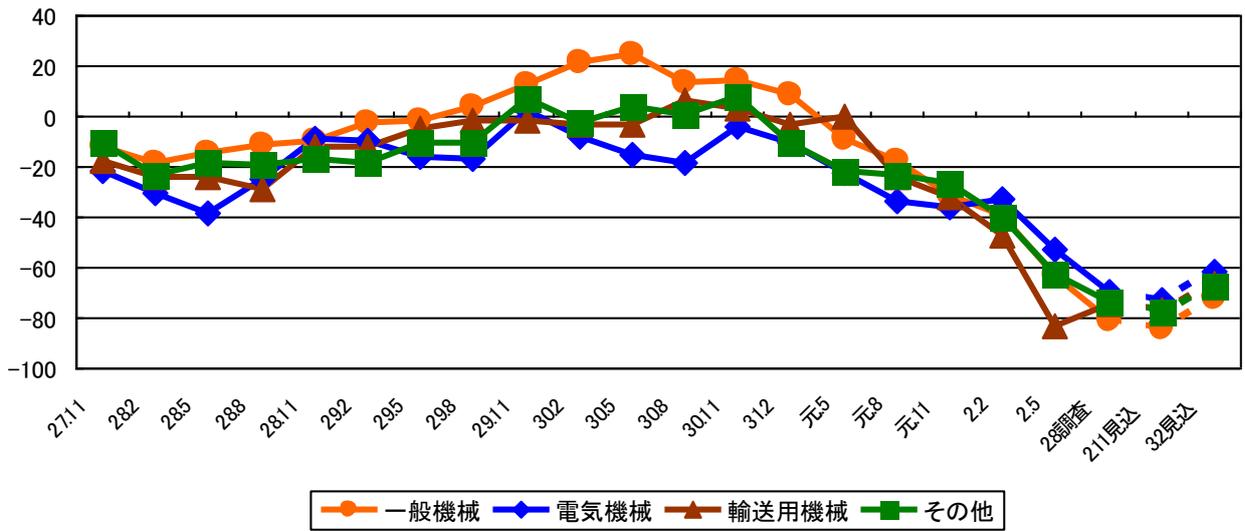
売上DIの推移



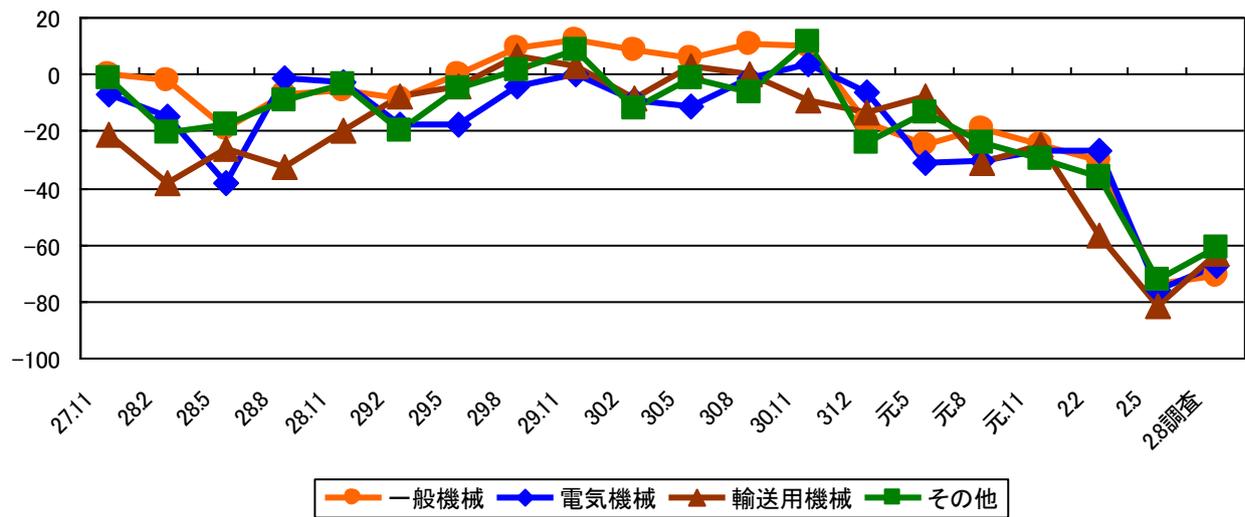
採算DIの推移



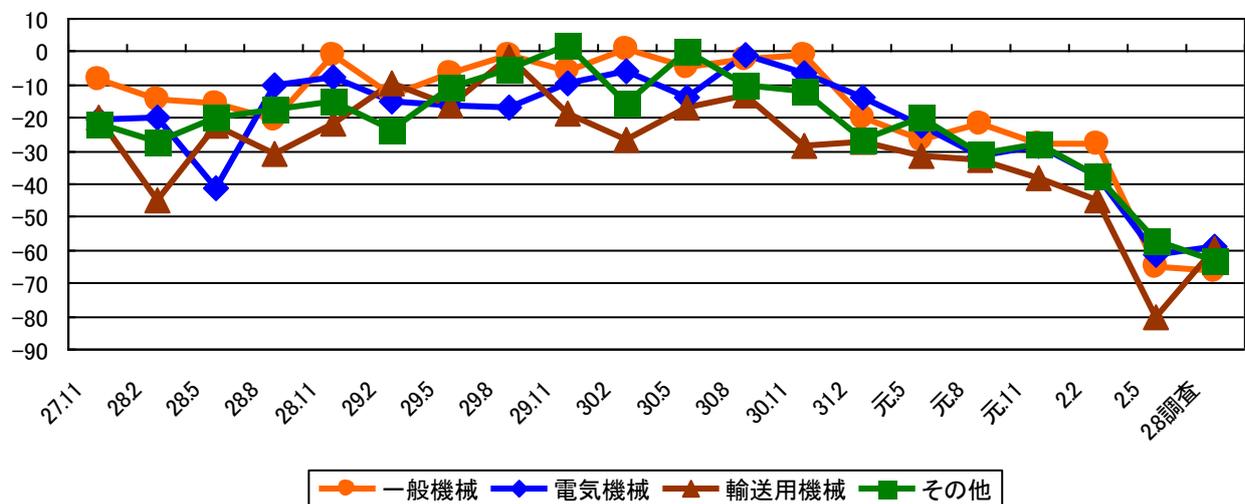
製造業(中分類)業況DIの推移



製造業(中分類)売上DIの推移



製造業(中分類)採算DIの推移



<製造業>

「環境事業の低迷で、大型観光バスの生産が激減。」
「コロナ問題が不透明で、不安定状態が続いています。」
「コロナ感染による経済不調により、今後の見通しは悪化することが予想される。」
「コロナ影響により、ネジを使うメーカーが操業を縮小している為。弊社の金型も注文が入らない状況。」
「コロナの影響で、5月は、売上が半分に落ち込んだが、影響が有った取引先は、まだ回復には至っていないものの、他の取引先からの受注が増えている。」
「コロナ影響大。マスク部門の生産があるので、何とか経営可能です。」
「50年以上に亘り、取引をしている自動車関連の顧客より、35%~40%の原価低減要請あり。自動車業界の落ち込みにより、顧客が厳しい経営状況に陥っている。」
「コロナの影響で、大口発注元の設備投資凍結により、7月からの受注激減。当分の間、雇用調整助成金の申請を継続していく。」
「前期（令和2年4月~6月）、新型コロナウイルスの影響を受け、業績が急激に悪化。今期（令和2年7月~9月）も、その影響は続いており、回復の目途が立たない状況。」
「業績は、コロナ前の器械設備の受注の為、今までは順調であったが、この数ヶ月、電話問合わせ等が極端に減少しているので不安は大きい。」
「大口の取引先が、休業だったり、不調だったりするため、影響が大きい。」
「4月~5月は、コロナの影響で、売上が大幅ダウンしたが、6月以降は、若干、持ち直してきた。8月~9月も順調そうである。10月以降は不明。」
「4月~6月との比較で戻っているだけで、通常と比較すると、3割以上減です。」
「新型コロナウイルス流行の影響から、顧客自身も十分な営業、生産が出来ず、当社への受注量もそれに伴い、減少しています。この状況がいつまで続くか、先が見えない状態です。」

<建設業>

「コロナウイルスの為、一時ストップしてから、仕事が少なくなり、単価も下がっています。（建設業、鉄骨）」
「今年度は、まあまあですが、来年度以降、不安である。」
「コロナウイルスの感染拡大の影響で、5月は最悪の状況でした。その後少しずつ繋げられています。」
「建築業界の市況への影響は、1年後とタイムラグがある。」
「下期は、売上施工上昇見込み。」
「公共事業を主体としてやっています。民間工事は、皆無です。（設備の修繕工事はありますが。）」
「建設業のコロナ影響はこれから。引き合いも少なくなってきたし、民間しか受注していなかった元請も、公共事業にシフトしている。不安要素しかない。」
「前期同様、コロナウイルスの影響により、秋工事予定が来春以降に延期となっている。」
「工事量の減少により、競争激化。民間工事においては、延期やら中止やらが発生し、見通しが立たず、厳しい現状です。」

<卸売業>

「客数は、変わらないが店数の減、結果だんだん厳しくなっている。」
「給付金の10万円が、自転車販売にプラスの効果があった様で6月に売上が戻ったが、今後も続くかどうかは、わからない。」
「コロナウイルスの蔓延により休業、縮小をするお客様（主にダイビングショップ、スポーツ小売店）が多かったため、当社からの卸販売額も減少した。但し、落ち込み幅は思った程大きくない。」
「マリンスポーツのメンテナンスに関わる大物が売れていますが、逆に消耗品は不調。コロナの影響で、時間が出来た顧客がメンテに力を入れるも現場には出づらいためと思われる。」
「観光にお客様はなかなか戻ってくるのは難しい。お土産を買う層がいない。インバウンド（外国人）、バスツアー（高齢者）、遠足、修学旅行など。」
「EC販売の販売が多かった為、実店舗向けの販売が減った分をカバーできました。しかし、今後についてはどうなるか全く分かりません。」
「卸売なので、学校給食分だけ減収です。」
「8月納期分の注文より、大きく減少。半年後の状況が見通せない。」

調査回答企業からのコメント(一部)

<小売業>

「イベント関係の仕事が全部中止になり、他に利益をあげる方法を社員皆で考えております。」
「当店の顧客は、横須賀市外の人が8割位でしたが、コロナウイルスの期間中は、市内の人が大幅に増えた。今後も見て楽しい手作りのホームページの作成と、独自の品揃えに力を入れ、好調を持続したい。」
「葬儀の規模が大激減！！。今後も続くので、今期は大幅な赤字です。返礼品が、80%減。」
「4月、5月は、コロナ禍の影響で売上が大きく下がりましたが、運よくマスクや除菌グッズ商品が次々と入荷し、通常商品の落ち込みをカバー。結果対前年比85%~98%と売上を上げることが出来ました。今後、この暑さがいつ迄続くのか、それによって9月、10月の売上が大きく影響を受けますので。また、コロナ禍がどこまで拡大するのかにより、今までになく不透明です。」
「田んぼの中の店舗の為、新型コロナの三密を避けられるからか？。売上は順調だが、経費増で利益がともわない。」
「コロナの影響で、イベントがほとんど中止になっているので、それに関する注文が全てなくなってしまっているの、先の見えないたかいです。」
「コロナの影響で外出しないで地元のお客が増えている為、売上が増えている。他県の方も来店して頂けるので経営的には楽であるが、社員の確保が心配です。社員には人手の多い場所や夜遅くの飲み会等はやめるように指示しています。」
「顧客の稼働時間短縮等。またテレワークにより事務用品等の購買減少がみられた一方コロナ関連商品の売上増により助けられた。」
「コロナの影響で贈答品の売上が激減。今後の見通しが見つからない事が不安。」
「観光地として成り立っている当地では、このコロナの影響は、非常に大きいです。来年の春までは、続きそうです。」
「コロナのせいで、出かける事や人と会うことが少なくなっている為か、飾る必要なくなっているの、新しい物を買う気が失せているように見える。」
「自粛期間の2月~6月までは、客足が多く好調でしたが、終わったとたん客足はかなり悪くなりました。」

<飲食店>

「新型コロナウイルスの関連で自粛。宴会中止で客数減で悪化続き。」
「会食や宴会のご予約が取れない。年末年始に向けて、さらに厳しくなるか？」
「コロナの影響等で、宴会などがなくなり、夜が暇になった。」
「箱根は、立地条件から東京からのお客が多くコロナで東京からのお客が減っていると、お店も赤字続きになります。どうなるか先が見えません。」
「現状では、コロナの影響も少ない状況。ただ、衛生面の対策の為、消毒液や空気清浄機などの出量が増。年末の状況がとても心配。」
「コロナでの影響か？インターネットサービスが好調です。接触がない。または少ないのが強みかもしれません。」
「店内でのお客が減り、デリバリーが増えているが、デリバリーが出来るスタッフが足りなくなっている。」

<サービス業>

「5月は、売上が半分以下になる。6月より昨年並みに回復。しかしコロナ禍が長引けば影響を受けるのは必須。顧客の自粛影響が大。」
「客足がなかなか戻らない中で客単価を上げる工夫が必要。お客様が安心して参加できるような小規模のイベントを増やし細かく売上を上げる機会を増やす。」
「新型コロナウイルス感染拡大に伴い、衣装利用の数が減っている状況。挙式の延期、中止が止まらず先が見えない状況。」
「新型コロナウイルスの影響で、契約開始時期の遅れや規模の縮小が出ています。今後も新型コロナウイルスの影響が拡大していくと予想しています。」
「今後の業績は、多少は変動はあるが、契約も順調に進んでいますので、現在と変わらない模様。」
「レンタカーは昨年4月~6月の売上に対し半分で、観光の方は0です。新型コロナウイルス感染症が終息しない限りこのまま続くと思います。」
「イベントが、全て中止になりキャンセルばかり。撮影からweb配信が増えていて何とかなっています。」
「民間の業務が減っている。コロナの影響で、止まっていた業務(官庁)が動き出したが、10月くらいから見通しが立たない。」
「緊急事態が解除され、仕事の依頼は戻ってきましたが、4、5月分のマイナスがあるので赤字です。」